



# 清水けんいち 市政レポート

政策討議資料  
第34号  
2016年3月

## 【ご挨拶】

皆様の、日頃からのご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。議員活動を市民皆様に御報告する事で、少しでも開かれた政治にしていきたい。皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷を実現していきたい！  
そうした思いで、「市政レポート」を発行して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。  
皆さんにお願いします。どうぞ、この子を可愛がってあげてください。

## 【議会報告】

深谷市議会 平成28年度 第1回定例会3月議会が終了しました。

### 主な議案

- ・行政組織条例の一部を改正する条例（可決）
  - ・行政不服審査会条例（可決）
  - ・情報公開条例の一部を改正する条例（可決）
  - ・平成28年度一般会計予算（可決）
  - ・消防団条例の一部を改正する条例（可決）
- （他、市長提出議案24件・議員提出議案4件・請願3件）

## 【平成28年度一般会計予算の概要】

一般会計当初予算は、481億2千862万6千円で、平成27年度当初予算と比較し、14億8千871万3千円の増（3.2%）となっております。これは、産業拠点推進事業（花園ICアウトレット及び深谷テラス）、スマートIC（岡部地区）整備事業、消防通信指令事業の増加などによるものです。

## 《深谷テラス運営の優先協議者がキューピー(株)に決定しました！》

深谷テラスとは、アウトレット（民間ゾーン）に隣接する公共ゾーンを利用して、市の農業振興と観光振興に寄与する施設のごとで、選考の結果、キューピー(株)に決定しました。キューピー(株)の提案では、「作る」から「味わう」まで、野菜をまるごと楽しめる、地域と一体となった体験型施設として、地域参加型の「野菜レストラン」、地域素材の美味しさと健康なライフスタイルを提案する「野菜SHOP」、知って作って食べるまでを体験できる「野菜教室」など、何度来てもワクワクする、ここでしか味わえない体験を提供するそうです。

深谷テラスの優先協議者がキューピー(株)に決定したことは歓迎します。キューピー(株)はマヨネーズで有名な一流企業ですし、経営内容も大変良い会社です。また、野菜の生産が盛んな深谷と手を結ぶとい



うことも大変意義のあることだと思います。一点、気になったのが事業者募集に際し、地元企業との共同提案（グループ化）を何故、条件に加えなかったのか！そうすれば、地元企業との交流も深まり、雇用にも繋がったのではと考えます。今からでも遅くは無いので、地元企業との交流を深めるべきと提言していきます。

## 【平成28年度の市民生活に直結する事業】

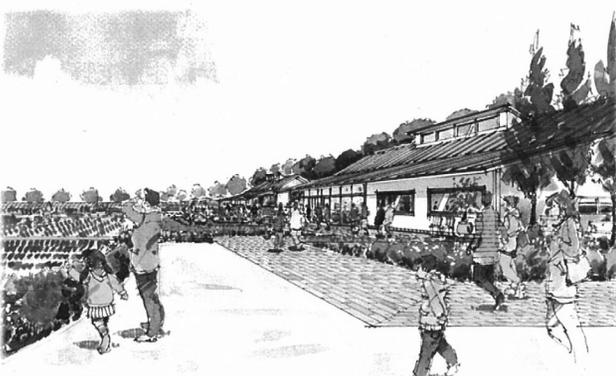
1. 多子世帯保育料軽減事業 第3子以降（3歳～5歳）無料化  
 昨年は、0歳～2歳までの第3子以降を無料化しましたので、これで0歳～5歳までが無料となります。
2. 住宅用省エネ設備設置補助事業  
 住宅用省エネ設備設置者に補助金を交付し、普及促進を図り、温室効果ガスの削減や環境意識の高揚に繋げる事業です。  
 ※太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、家庭用ガスエンジンシステム、リチウムイオン燃料電池等・最高6万円の補助
3. 三世代同居・近居支援事業  
 子育てや介護などの支え合いを促進すると共に、地域コミュニティを次世代に繋げていくため、市内在住の親世帯の近くに住み替える（所有）場合に引越し費用を最高5万円補助するものです。
4. 高齢者住宅改修補助事業  
 高齢者の自宅内での転倒等を防止し、住み慣れた地域でいつまでも安全に生活できるよう、住環境を整備すると共に、介護予防を推進することを目的に、住宅改修を行なった際に費用の一部を補助するというものです。  
 ※手すり設置、段差解消、滑りの防止工事など、最高10万円
5. 住宅耐震化補助制度  
 昭和56年5月以前に建てられた住宅で耐震不足の判定が出た建物の耐震工事の一部を補助します。（最高30万円）  
 注：解体工事にも補助金が支給されます。（最高20万円）

三世代同居・近居支援事業は、昨年12月の一般質問で提言したのですが、何故、引越し費用の一部としたのか不思議でなりません。市内に引越し業者の本社が沢山あれば、市内経済にも寄与するのですが、残念ながら本社を有する引越し業者はありません。例えば、市内に本社がある電気屋さんとか、住宅関連会社に支払った費用に対して補助するとすれば、地域経済の活性化にも繋がるのではないのでしょうか、と提言させていただきました。



## 花園IC拠点整備プロジェクト 深谷テラス

▶深谷テラスイメージ参照



## “野菜って楽しい！畑のワクワクと発見を食卓に”

～「作る」から「味わう」まで、野菜をまるごと楽しめる、地域と一体となった体験型施設～

首都圏有数の農業地域であるここ深谷から地域農畜産物の魅力を発信、旬の野菜や食べ方の提案、農業・食育の体験などを通じて野菜をもっと好きになり食卓が豊かになることを目指します。

### 深谷テラス Farm（仮称）

畑のワクワクと発見を食卓に提供する畑を軸にした3つの施設で構成

#### ◆ 通年、多品種生産で野菜を楽しむ“畑”

- ① 「野菜をもっと知る」野菜レストラン
- ② 「野菜をもっと食べる」野菜SHOP
- ③ 「野菜をもっと好きになる」野菜教室

施設は、四季折々の野菜が栽培される畑を軸に、野菜の魅力・食べ方を紹介する地域参加型の「野菜レストラン」、地域素材の美味しさと健康なライフスタイルを提案する「野菜SHOP」、知って作って食べるまでを体験できる「野菜教室」からなり、何度来てもワクワクする、ここでしか味わえない体験を提供します。

# 3月19日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「さしのぼる朝日のごとく さわやかに  
もたまほしきは心なりけり」  
(明治天皇御製)

郷土の偉人・渋沢栄一翁も一橋大学や日本女子大学、国土館大学などの設立に貢献されましたが、戦争の真っただ中、昭和17年4月に、女子教育の重要性を訴え、私財を投じて「橘女学校」を開校された、日本の財界にこの人ありと謳われた「土光敏夫氏」の母、土光登美さんが、こよなく愛した明治天皇の御製です。朝日のごとく、さわやかにいつづけたいものです。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問に入ります。

## 質問1 “学力向上について”

国では、義務教育の機会均等などと、その水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るため、毎年4月に「全国学力学習状況調査」(以下、学力調査)を行なっています。昨年、平成27年度の結果を見ますと、以前にも一般質問で取上げました、秋田県、福井県がトップクラスで、埼玉県は47都道府県中41位でした。順位を競うのは本意ではありませんので深谷市の順位には触れませんが、図1でもわかりますように、小学生算数A問題、B問題ともに深谷市の平均正答率が県平均、国平均ともに下回り、その差が年々広がってきております。また、小学校国語並びに中学校国語、数学も厳しい結果が出ております。そこで、質問します。こうした結果を踏まえ、児童生徒の学力向上に、どのように取り組んでいるのか伺います。

	27年度小学校算数A(主として知識)				27年度小学校算数B(主として活用)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年度比較	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H26-H25 H27-H26	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H26-H25 H27-H26
深谷市	75.6	76.2	71.4	0.6 -4.8	58.1	56.9	40.7	-1.2 -16.2
埼玉県(公立)	76.2	76.9	73.1	0.7 -3.8	57.7	57.8	43.1	0.1 -14.7
全国(公立)	77.2	78.1	75.2	0.9 -2.9	58.4	58.2	45.0	-0.2 -13.2
埼玉県との差	-0.6	-0.7	-1.7	-0.1 -1.0	0.4	-0.9	-2.4	-1.3 -1.5
全国との差	-1.6	-1.9	-3.8	-0.3 -1.9	-0.3	-1.3	-4.3	-1.0 -3.0

図1

**答弁** 結果の分析を通して、より一層の基礎的・基本的な事項の習得やそれらを活用する力を育成すること、更なる学習意欲の向上などが課題であり、それらの解決に向けて、「教師の指導力の向上」「学習意欲の向上」「家庭学習の充実」に努めて参ります。

## 再質問 “秋田県式・家庭学習ノートから学ぶべきでは!”

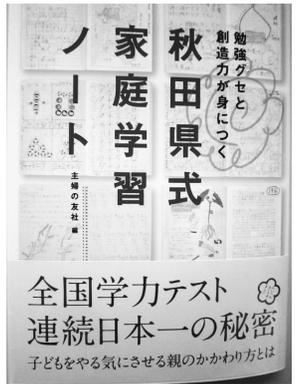
学力調査で7年連続の日本一となった秋田県を調べてみましたが、その中に「家庭学習ノート」の存在がありました。秋田県では小学校入学時から家庭学習ノートの記入を徹底しております。それにより家庭での学習が習慣化しているのです。卒業生へのイ

ンタビューでは、家で「勉強しなさい!」と言われた記憶がない」というのには驚きました。深谷市も取り入れるべきではないと思いますが、考えを聞かせて下さい。

**再答弁** 今年度は、家庭学習の在り方についての研究を市内の学校に委嘱し、授業と関連付けた「家庭学習の充実」に取り組んで参ります。



深谷市の教育は、近隣市町に比べても進んでいますが、正直、学力調査の結果には驚きました。もう少し視野を広げて、毎年度トップクラスである秋田県や福井県の教育を研究し、良い点はどんどん取り入れるという姿勢が必要であると感じます。「秋田県式・家庭学習ノート」は、その第一歩であると強く感じます。次代を担う子どもたちにとって、「学力向上」は重要な問題であり、全市を上げて取り組むべき課題です。これからも注視して提言を続けて行きたいと思えます。



## 質問2 少子化対策・婚活支援事業について

未婚化・晩婚化により、少子化が進み人口減少による地域活力の低下が懸念される中、少子化対策、定住促進、地域活力の向上を図るため、全国各地の自治体で、いわゆる「婚活事業」に取り組む動きが広がってきております。本市でも新たに取組むわけですが、是非とも成功させ1組でも多くの幸せなカップルが誕生することを期待しながら質問に入ります。事業目的と国や県との連携、行政として、どこまで応援するのか伺います。

**答弁** 平成22年どの国勢調査によりますと、本市の20歳～59歳までの未婚率は32.7%となっていて、未婚化の要因として、出会いの場が少ないことがあげられております。こうしたことから、埼玉県及び県北7市での広域連携事業である「結婚支援事業」も活用して行きます。現在、計画している事業は、市内及び県内の婚活に関する情報提供を、メール配信サービスやホームページ、広報などを活用し情報発信を行なう予定です。

**再質問** 県では、各種団体が婚活イベントを開催する際の補助制度(最高15万円)が創設しているが、もっと周知する必要と思うが考えを聞かせて下さい。

**再答弁** そのとおりですので、市としても周知徹底していきます。

## 質問3 地域経済の活性化・6次産業化支援事業について

国は地方創生の一環として、農村の所得や雇用の増大を図るため、地域の創意工夫を活かしながら、多様な事業者がネットワークを構築して取組む、新商品開発や販路開拓、農産物の加工、販路施設の整備などの取組み及び市の作成する「地域ぐるみの6次産業化」を支援するとして、平成28年度予算に約20億円を計上しております。合わせて、県でも、6次産業化に取り組む農業者などの発展段階に応じて、戦略的且つ実践的な支援を行い、農業経営の多角化と強化を図ることで、収益力向上と地域振興を目指すとして、約6千万円を計上しておりますが、市として「戦略的6次産業化支援」をどのように行なうのか伺います。

**答弁** 先例市の成功事例を基に、市としての6次産業化をどのように進めて行けば良いか、職員によるプロジェクトチームを立ち上げて進めて行く。また、協議会の立ち上げや、講演会などを通じて、異業種との係わり合いの場を設け、ネットワークの構築を図って行きます。

# 清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8  
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: [info@shimizu-kenichi.jp](mailto:info@shimizu-kenichi.jp)



## プロフィール

昭和36年1月27日生まれ(55才)

家族構成 父、妻、長男、長男妻、長女、次女、孫(8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ◎ ふかや市商工会 理事
- 深谷市議会 副議長

このレポートは旧花園・川本には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。